

業績現場の光明に

中日教育賞、11人を表彰

中部九県の優れた教育者をたたえる第四十九回中日教育賞の贈呈式が二十七日、名古屋・栄の中日パレスで開かれた。

各地の教育委員会などから推薦された百五件から十人が選ばれた。贈呈式で、中日新聞社の大島宇一郎社長は、各教科や部活動の指導など、受賞者の業績に触れ「皆さまの業績は、教育現場への光明になる」とあいさつ。受賞者に、正賞の置き時計と賞額、副賞四十万円を贈った。来賓の中



中日教育賞を受ける名古屋立大坪小の大菅純子校長(五七)が27日午前、名古屋・栄の中日パレスで

田敏夫・愛知教育大副学長と、植田健男・名古屋大教育学部長が祝辞を述べた。

受賞者を代表し、名古屋立大坪小学校の大菅純子校長(五七)が「受賞者の名に恥じぬよう、今後の教育の推進にあたりたい」と謝辞を述べた。

◇受賞者の皆さん

名古屋立大坪小学校校長、大菅純子「道徳教育の充実に向けた取り組み」▽愛知県・日本福祉大学付属高校教諭、今田和弘「和太鼓部の創部と長年にわたる演奏活動」▽同県豊橋市立卒呂小学校校長、久野哲司「独創的な算数・数学の授業づくり」▽岐阜県立岐阜商業高校教諭、和田隆明「国内外で活躍する吹奏楽部を長年指導」▽三重県立桑名西高校教諭、水野悟「高校における主権者教育の推進」▽静岡県湖西市立湖西中学校教諭、山田往子「多視点

を生かした社会科学習の工夫」▽長野県松川高校常勤講師、菅沼節子「官民学を巻き込むボランティア部活動の指導」▽滋賀県愛荘町立秦荘中学校教諭、森居吉孝「書教育の発展に寄与」▽福井県立武生東高校非常勤講師、小泉宗昭「グローバルな人材を育てる英語教育の実践」▽石川県・NPO法人ワンネススクール代表、森要作「石川県内初のフリースクールの創設」▽富山市立長岡小学校教諭、梅田好子「理科好きの子どもにする指導法の研究と実践」